

第90回 親蔦会総会議事録

1. 開催の日時及び場所

- 1)日 時 2020年6月7日(日) 10:00~12:00
2)場 所 親蔦会クラブ

2. 出席者 21名 内運営委員 19名

出席理事・監事 山本幸男、渡邊和彦、戸田陽子、三橋敏弘、山田保枝、白石美弥子、岡崎静枝、山本誠一、向田敬三、宮原眞、立山陽子、藤田一美、藤原智子、曾田千恵子、堀江聖子、森岡礼二

3. 開会に先立ち、今回の総会は新型コロナ感染防止の観点から委任状及び議決権の行使を容認する事を宣言、高18戸田副会長より、運営委員数68名のうち出席19名、委任状提出30名、議決権行使10名で、定款18条(総運営委員の過半数の出席)により、本会議の成立条件を満たしている報告と開会宣言がなされた。

4. 挨拶

議事に先だち、会長(高20山本幸男)及び北川真一郎学校長より挨拶を頂く。

その後、山本会長が議長に就任、議事録署名人に次の2名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異議なく拍手にて承認された。

白石美弥子、曾田千恵子

5. 議事

① 2019年度 事業報告の件

配布資料に基づき事務局より報告。会報発行、理事会等会議、総会、等が恙なく終了した旨報告した。人材バンク意見交換会第5回目を7/21に実施した。毎月原則第三日曜日に実施のオープンデーだが、新型コロナの影響で3/15は中止となった。10/19,20に第三回親蔦会文化祭を親蔦クラブにて開催した。夢高ギター部の皆様に演奏頂く等、二日間で約90名が参加した。コロナ禍の中第72回卒業式は2/28に無事開催、前日の親蔦会入会式も開催でき、従来通り親蔦会についての詳しい説明と紹介を実施できた。支部活動は配布資料の通り実施された旨報告した。会場内の総員の拍手にて承認された。

② 2019年度 計算書類承認及び監事監査報告の件

配布資料に基づき事務局より報告。貸借対照表、財産目録、収支予算事業別区分内訳書並びに報告書、財務諸表に対する注記と附属明細書を資料として添付しているので確認頂きたい。2019年度は会費額の減少が著しく、納入促進委員長を中心に対策をとって頂いたが、減少額に届かず、結果、120万円の現預金の減少となってしまった。減少の理由としては、会費納入額の減少以外に、利用者高齢化による親蔦クラブ教室利用料減少や、Windows7サポート終了に伴う事務所PC2台の新規購入費用等の支出増加があると説明。2020年度も新たな回生を対象に会費納入促進作戦を実施する事とする。支出に関しては、Windows7のサポート終了の時期を感じ違いし予算化しておらず、結果什器備品費が予算オーバーしたが、それ以外はほぼ当初予算通りで推移している。

続いて、Y24堀江監事より、会計監査が無事終了した旨を報告した。

会場内の総員の拍手にて承認された。

③ 2020年度 事業計画及び収支予算承認に関する件

配布資料に基づき事務局より報告。機関誌「蔦」は新型コロナに追いかけれながらも何とか予定通り発行できたが、それ以外の事業計画は大幅な変更や中止を強いられている。

5/10に予定の理事会・企画(運営)委員会は中止せざるを得ず、今後の会議開催は社会情勢と照らしての開催となる予定。今総会は場所を母校から親蔦クラブに変更して何とか開催できた。

10/11 に実施予定の親鸞会創立 90 周年記念祝賀会は来年 10/3 に延期となる。申し込み済の方には延期の旨個別に通知をするが、それ以外の方にはホームページ位しか周知方法が無い為会員の皆様に友人への口コミ連絡をお願いしたい。オープンデーも当面休止とする。

その他の事業計画は資料の通りである。

今年度予算に関しては配布資料の通りである。創立 90 周年記念祝賀会は来年に延期となったが、その他記念事業は今年度より着手する為、今年度にて予算化している。

今年度、会員情報管理システムの更新を行う事とし、約 48 万円を予算化。更新の理由は、現システム導入より 30 年ほど経過し導入時のメーカーは既に存在せず不具合対応が不安な事、一部機能が正常動作しなくなった事、時代に即した検索項目を追加したい事等で、事前に理事会にて更新承認頂いている。導入時には理事会所属員対象に説明会を実施し、事務局員以外に複数人が操作できる形とする。その他はほぼ昨年実績にて予算化している。

いずれも会場内の総員の拍手にて承認された。

④ 定款細則の制定並びに定款一部変更の件

親鸞会の定款は一般社団法人への変更時に、県内他社団法人校と共通仕様での制定が必要だった為、記載内容が親鸞会の実情にそぐわない部分や記載不足の部分が見受けられた。

この度、山本会長及び細川理事、櫻井司法書士の 3 名にて協議・検討した「理事会運営規則」と定款の一部変更の議案が提出され、山本会長により説明があった。

理事会運営規則は、現定款に記載の無かった理事会の権限や決議事項、各支部について、出席不良理事等への辞退勧告について等を明記したものとなっている。又、定款一部変更箇所としては、政治・宗教等すべてにおいて中立・公平である旨を改めて明記した事、各支部についての記載を付加した事、並びに災害支援について明記したものである。

いずれも会場内の総員の拍手にて承認された。

変更内容を反映した定款及び理事会運営規則は、親鸞会ホームページに掲載するものとする。

⑤ 理事会組織変更に関する件

今年度、以下 6 件の組織変更となる。

(1) 理事任期满了にともなう退任の件

退任 理事 高 19 向原 廣章

退任 理事 高 34 細川 正直

退任 理事 高 34 小山 政人

(2) 理事任期满了に伴う重任の件

重任 理事 高 20 山本 幸男

重任 理事 高 16 渡邊和彦、理事 高 18 戸田陽子、理事 高 24 三橋敏弘、

重任 理事 女 18 宮本喜久子、理事 高 8 岡崎静枝、理事 高 20 宮原 眞

重任 理事 高 20 山本誠一、理事 高 32 藤原智子、理事 高 32 曾田千恵子

重任 理事 高 42 横畑和幸、理事 高 37 森岡礼次

(3) 理事就任の件

就任 理事 高 4 山田保枝、理事 高 13 馬渡征宏、理事 高 28 立山陽子、

就任 理事 高 28 藤田一美、理事 高 36 入江章文

(4) 監事辞任の件

辞任 監事 徳田 幸夫

(5) 監事就任の件

就任 監事 吉田 朗子

(6) 顧問として 神原吾郎教頭先生ご退職、柴田尚剛先生が就任された。

以上、会場内の総員の拍手にて承認された。

被選任者は即時就任を承諾した。出席者の就任承諾書は議事録援用とする。

⑥ 親蔦会創立 90 周年記念事業の件

2020 年 10 月 11 日に予定されていた親蔦会創立 90 周年記念事業について、新型コロナウイルス感染防止の観点から、来年の 2021 年 10 月 3 日に延期する旨、山本会長より説明があった。

祝賀会の内容は現時点では変更は無し、講演者及び演奏者には予定通りに参加頂くよう依頼済。

日程の変更については、ホームページに記載する等、PR に努めるものとする。

今年、参加申し込みし参加費を入金頂いている方には、延期の旨を個別に連絡する。会費は来年まで預からせて頂くよう依頼し、返金の希望には対応する。

祝賀会以外の記念事業(母校援助、親蔦クラブ改善)については、今年度より着手し、来年の祝賀会席上にて報告するものとする。

⑦ 各委員会活動報告に関する件

○総務委員会(向田委員長)

総務委員会の下部組織として人材バンク充実化部会を新設した。

現在はコロナにより休止しているが、毎月原則第三日曜日に総務委員会開催中。親蔦会人材バンク意見交換会を今後も適宜開催する。

○年間行事企画委員会(渡邊委員長)

下部組織としてオープンデー活性化部会と研修旅行部会を新設した。

90 周年記念事業のうち、祝賀会は来年に延期となったが、その他の記念事業は今年度を実施する。オープンデー活性化の為に親蔦クラブを改装し、会員が楽しく集えるサロンにする計画を実施する。今後プロジェクトチームを作って推進する予定であり、広く人材を募集する。

○会費納入促進委員会(宮原委員長)

昨年の現預金減少額 120 万円について、会費納入促進活動だけでは会費収入の減少額に届かず、今後とも納入促進活動は継続するも、今後他の対策も考えていく必要がある。

○広報委員会(大江事務局長)

蔦 55 号について、印刷費¥1,749,585、郵送料¥1,142,751 を払い済、合計¥2,892,336 で予算 300 万円におさまった。現在コロナにより国際郵便がストップしている為海外向け発送ができていない。再開後速やかに配送手続きをとる。

○ホームページ充実化委員会(富士水委員長)

富士水委員長急逝につき堀江監事が代行する。

○総会活性化委員会(戸田委員長)

今年、15 年ぶりの母校開催を計画したがコロナ禍により断念した。来年こそ、母校で開催できるよう校長先生にお願いし、現時点での OK を頂いた。

⑧ その他

○ 夢野台高校教職員異動報告

校長先生より、教頭先生、事務長先生他の異動に関して報告を頂いた。

6. 閉会

最後に議長がそれ以上の動議の無い事を会場に確認。渡辺副会長(Y16)が閉会を宣した。

以上この議事録が正確であることを証する為議長及び議事録署名人は次の通り記名捺印する。

2020 年 6 月 15 日

議 長 山本 幸男 印

議事録署名人 白石美弥子 印

議事録署名人 曾田千恵子 印

